



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃんNews



令和5年5月15日発行 第3号
多摩市聖ヶ丘1-17-1
電話 042-374-8111
発行者 校長 丹野 哲也

一人一人の目標について

校長 丹野 哲也

隣接する桜ヶ丘公園の新緑が美しい季節となりました。登校時には、木々や草花の香りが子供たちを迎えてくれます。

5月初めの個別面談週間に御協力をいただき、ありがとうございました。面談では、お子様の学校や御家庭での様子などを始め、個々の指導目標等について、お話をさせていただきました。今後、面談の内容等を踏まえて、個別指導計画を作成してまいります。その際、次のことを大切にしていまいります。

○個々の指導目標の設定に際しては、御家庭でもチャレンジできることや、逆に御家庭で取り組まれていることを学校でも取り組んでいくことなど、常に御家庭と学校が双方向に情報共有していくことを大切にしていきます。

○一度設定した指導目標についても、子供たちの学習状況を丁寧に把握しながら、修正等を行っていくことも大切にしていきます。目標設定の際には、子供たちが、現在のもてる力を発揮することにより、達成できそうな具体的な指導目標を設定することにより、達成したときの嬉しさを実感できるようにし、次の学びへつなげていきます。

5月から6月にかけては、学校での生活リズムや学習態勢も整ってくる時期となります。

学習場面での様々な子供たちの気付きを大切に、個々の目標に即した指導を計画的に行ってまいります。



I 部門 中学部 「コンポスト活動」

I 中では、給食調理後の野菜くずを回収して、堆肥づくり（コンポスト活動）を行っています。主に人参の皮を回収し、微生物の働きにより発酵・分解されるようにします。そのため、毎日かきまぜる活動を行っています。生ごみを減らすことによる「カーボンハーフ」としての実践を続けています。

II 部門 高等部 「花壇のお手入れ」

作業学習では、正門前の花壇の花植えや手入れを行っています。草花に関する専門的なことについて、外部専門員吉澤久仁男氏（元カクササービス勤務）の御助言を得ています。様々な活動の中で、子供たちがより輝くことができるよう、多くの方々に支えられて教育活動を展開しています。

